

大谷石研究会が、宇都宮市より「景観整備機構」の指定を受け、街並みの景観や街道筋の石蔵集落の調査、保存運動に対して「お墨付き」をい

た。これは、私たち大谷石研究会が発足以来10数年の間に「大谷石百選」の写真集を発刊するなど、大谷石の産業や大谷石建築の文化に光を当て、「宇都宮のブランド」として常に情報発信してきたまものと思っ



宇都宮 宇都宮の宝「大谷石」

石の街の景観を守れ

集積集落調査グループを結成し、宇都宮大学の安森研究室と協働で、最初の調査対象として「徳次郎町西根地区」を選んだ。ここは、宇都宮市内

面を測定したり、石の種類・構造を調べたり、ヒアリング調査を行ったりした。西根の住民の方には全面的に協力してもらい、大変感謝している。住民の方々は石蔵や石造りの家に誇りと愛着を持っており、それが今日までこのすばらしい景観が守られているゆえんであると思う。ここ

もこのような集落が今後とも末永く保存され、修景され、地元の人たちにとっても、私たち宇都宮市民にとっても誇れる景観として輝き続けてほしいと願っている。そのためにも私たちは順次、調査を行うなど地元のみならず行政といっしょにできることを考えていければと思っ

でも特に石蔵が集積した集落として知られ、同じ凝灰岩でも大谷石とは異なる独特の風合いを持つ「徳次郎石」を多く使っている。私たちは昨

年の西根に限らず、宇都宮市内には守っていききたい独特のすばらしい景観が数多く残っている。田原街道の上田地区、旧栃木街道の西川地区、白沢街道の竹林地区など実に質の高い石蔵の集積地がある。ぜひ

私たちが市民にとって、近年になってブランド化された「宇都宮餃子」やジャズ、カクテル以上に宇都宮ブランドとして守り続けてきた「大谷石の文化」を大きく育て、また磨き上げていくこと。ギョーザやジャズなどのコラボレーションを展開すること国内のどこにもない「石の街・宇都宮」を目指していきたい

NPPO法人大谷石研究会副理事長

しおだ 塩田 潔 (67)

芳賀町出身。武蔵工業大卒。NPPO法人宇都宮まちづくり推進機構歴史的建物活用委員会にて石蔵などの活用策に取り組む。大谷石研究会では市内の石蔵集積集落の調査などを先導。シオタ建築デザイン事務所代表取締役。

今後ともぜひこのようなツアーを継続して